

今年の「富富富」の初期生育は、植え痛みも少なく、順調に推移しています。

「富富富」は、初期茎数が確保しやすい特徴があります。一方で、茎数が多くなりすぎると、着粒数が過剰となり、青未熟粒が増え品質が大きく低下します。

このため、①中干しを適期に開始すること、②中干し後の間断かん水の落水期間をやや長めにすることがポイントになります。

「富富富」の品質向上のために、引き続き適切な管理をお願いします。

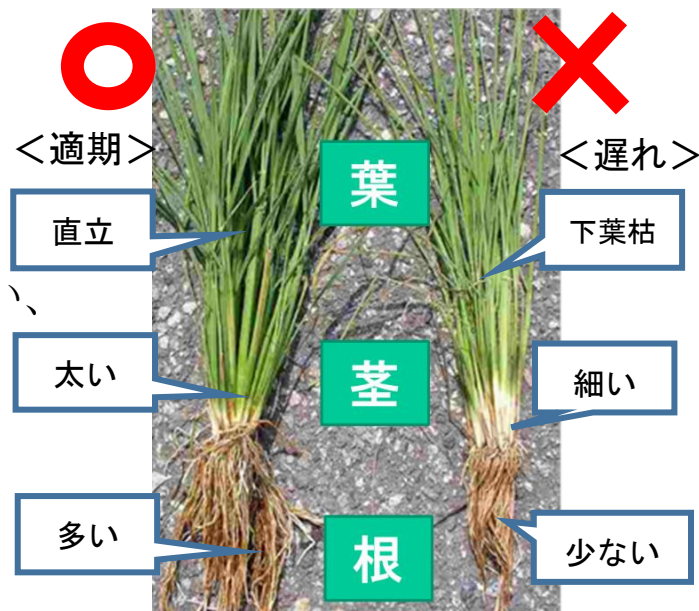
## 1 適切な溝掘りと中干しの実施

### (1) 溝掘り

中干しの効果を高めるため、田植3週間後を目安に軽い田干しを行い、**田植4週間後までに溝掘りを行いましょ**う。

### (2) 中干し

「富富富」は茎数がとれやすいので、中干しは**田植後1ヶ月以内に遅れないように開始し**、根の発達を促進しましょう。



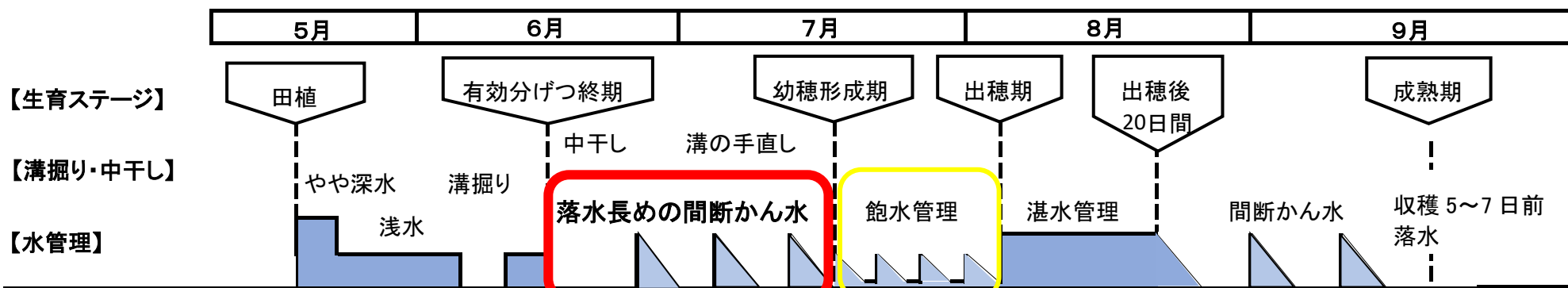
中干し時期による生育の違い  
(左：適期に実施、右、遅れて実施)

## 2 中干し後の水管理の徹底

(1) 中干し後～幼穂形成期は、「富富富」は葉色がやや濃い目に推移します。適正粒数に誘導するため、「コシヒカリ」と比較し、**落水期間がやや長めの間断かん水を行いましょ**う。

(2) 幼穂形成期～出穂期は、「コシヒカリ」と同様に、**飽水管理を行いましょ**う。

(3) 出穂後20日間は、「コシヒカリ」と同様に、湛水管理を行い、収穫5～7日前までは**間断かん水を行いましょ**う。



### 間断かん水のイメージ図

<乾きやすい圃場>  
入水 → 自然落水 → 3日程度落水

<乾きにくい圃場>  
入水 → 自然落水 → 5日程度落水

落水期間はやや長め

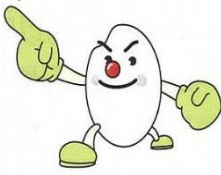
この状態になったら入水

### 【ポイント】

- 水管理の効率を良くし、中干しの効果を高めるため、**溝掘りは必ず実施**する。
- 無効分けつを抑制するため、**中干しは田植後1ヶ月以内に遅れないように確実に開始**する。
- 適正粒数に誘導するため、**中干し後～幼穂形成期までは落水期間がやや長めの間断かん水**を行う。
- 稲体や根の健全化のため、**幼穂形成期から出穂期まで飽水管理**を行う。
- 稲体の活力を維持し、胴割米の発生を防ぐため、**出穂後20日間は湛水管理**とし、**収穫5～7日前までは間断かん水**を行う。

### 3 化学合成農薬の成分使用回数について

今年は雑草の多い圃場が散見されます。追加の除草剤を使用する場合はご相談ください。



「富富富」には栽培要件として「**化学合成農薬の成分使用回数：12以内**」という要件があります。この栽培条件を満たさない場合は、「富富富」として、消費者に販売することができません。現在までの化学合成農薬の使用状況と今後の使用予定を確認し、基準内となっているかどうか、必ず確認しましょう。

使用実績	区分	農薬名	成分数
	育苗関係		
	苗箱剤		
	除草剤		
	本田防除		
小計			

今後使用予定	区分	農薬名	成分数
	除草剤		
	本田防除		
小計			

合計(使用実績+今後使用予定)

アルプス農協取扱い 農薬 一覧

区分	タイプ	農薬名	成分数	成分名	
育苗関係	一般	モミガードC水和剤	2	銅・フルジオクソニル・ペフラゾエート	
	省	テクリードCフロアブル	1	イブコナゾール・銅	
		カスミン液剤	0	カスガマイシン	
		ダコレート水和剤	2	ベノミル・TPN	
		タチガレエースM液剤	2	ヒドロキシイソキサゾール・メタラキシルM	
苗箱剤	一般	ルーチンアドスピノ箱粒剤	2	イミダクロプリド・スピノサド・イソチアニル	
	一般	Dr.オリゼフェルテラ粒剤	2	クロラントラニプロール・プロベナゾール	
		エバーゴルドワイド箱粒剤	4	イミダクロプリド・クロラントラニプロール・イソチアニル・ペンフルフェン	
	省	フェルテラ箱粒剤	1	クロラントラニプロール	
殺虫殺菌剤	粉剤	トレボン粉剤DL	1	エトフェンプロックス	
		バリダシン粉剤DL	0	バリダマイシン	
		バリダジョーカー粉剤DL	1	シラフルオフェン・バリダマイシン	
		両	ラブサイドキラップ粉剤DL	2	エチプロール・フサライド
		両	スタークル粉剤DL	1	ジノテフラン
	液剤	バリダシン液剤5	0	バリダマイシン	
		MR. ジョーカーEW	1	シラフルオフェン	
		両	ラブサイドフロアブル	1	フサライド
		両	キラップフロアブル	1	エチプロール
		両	スタークル液剤	1	ジノテフラン
微粒剤	ビームスタークル微粒剤F	2	ジノテフラン・トリシクラゾール		
	キラップ微粒剤F	1	エチプロール		
除草剤	初期剤	メテオ1キロ粒剤	1	ペントキサゾン	
		両	マーシエット1キロ粒剤	1	ブタクロール
			メテオフロアブル	1	ペントキサゾン
	一発処理剤		ビッグシュアエース1キロ粒剤	4	イマゾスルフロン・ダイムロン・フェントラザミド・プロモブチド
		両	ウィナー1キロ粒剤51	3	イブフェンカルバゾン・プロモブチド・ペンシルフロンメチル
			アピログロウMX1キロ粒剤	4	ピラゾスルフロンエチル・ピリフタリド・プレチラクロール・メソトリオン
		両	ウィナーLジャンボ	3	イブフェンカルバゾン・プロモブチド・ペンシルフロンメチル
			アピログロウMXジャンボ	4	ピラゾスルフロンエチル・ピリフタリド・プレチラクロール・メソトリオン
			サラブレッドRXフロアブル	4	イマゾスルフロン・オキサジクロメホン・クロメブロップ・ダイムロン
			ガンガン豆つぶ250	2	ピリミスルファン・フェノキサスルホン
	中期剤		カチボシ1キロ粒剤	3	イブフェンカルバゾン・テフリルトリオン・ペンシルフロンメチル
			カチボシジャンボ	3	イブフェンカルバゾン・テフリルトリオン・ペンシルフロンメチル
		両	ブイゴールSM1キロ粒剤	3	シメトリン・ベノキススラム・MCPB
	後期剤		サンパンチ1キロ粒剤	4	シハロホップブチル・ジメタメトリン・ハロスルフロンメチル・ベンゾピシクロン
		随時	テッケン1キロ粒剤	2	ベノキススラム・ベンゾピシクロン
テッケンジャンボ			2	ベノキススラム・ベンゾピシクロン	
両			バサグラン粒剤	1	ペンタゾン
随時		クリンチャー1キロ粒剤	1	シハロホップブチル	
随時		トドメMF1キロ粒剤	1	メタミホップ	
随時	クリンチャーバスME	2	シハロホップブチル・ペンタゾン		

※タイプ 一般：一般タイプ、省：省成分タイプ、両：両方のタイプで推奨、随時：随時防除

※青色斜字成分は、カウントしなくてもよい成分

※不明な点があれば、各営農経済センター又は農林振興センターまでご相談下さい。

#### 【ポイント】

- 化学合成農薬（殺虫殺菌剤及び除草剤）の成分使用回数を12以内（県慣行レベルの3割減）とする。
- 現在までの化学合成農薬の使用状況と今後の使用予定を確認し、基準内となっているかどうか、必ず確認する。
- 「葉いもち」の防除は省略できるが、「穂いもち」の防除は必須とする。
- 「紋枯病」や「斑点米カメムシ類」の防除は「コシヒカリ」に準じて行う。
- 薬害による生育抑制がないように、除草剤の適正な使用に努める。

次回の「富富富」通信(病害虫防除等)は、7月5日頃の発行予定です。